道徳科の実践例（小学校高学年）

１　本時の目標

　(1) 主題名　謙虚に、広い心を持って（内容項目〔Ｂ(11)相互理解、寛容〕）

　(2) 本時のねらい　自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重する態度を育てる。

　(3) 資料名　ブランコ乗りとピエロ（出典：「私たちの道徳」）

２　本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 過程 | ○発問等（◎中心的な発問）　・予想される児童の反応 | ◆指導上の留意点　◇評価 |
| 導入 | ○　友達と意見が対立したとき、どうしているだろう。（ポイント①）  ・友達とよく話し合う。  ・多数決をとる。  ・わがままなことを言わない。　等 | ◆自分の経験から、できるだけ多様な考えを出させる。 |
| 展開前半 | ○　「ブランコ乗りとピエロ」（「私たちの道徳」P84-87）を範読する。  ◎　どうしてピエロは最後の言葉（P87L3）を言えたのだろう。   |  |  | | --- | --- | | 自分（ピエロ）がだめだと思うから | サムがすごいと思うから | |  |  |   ・「自分（ピエロ）がだめだと思うから」「サムがすごいと思うから」のどちらかの枠に自分のネームカードを貼る。  （ポイント②）  ○　同じ位置に貼ったもの同士で話合い、次に、異なる位置に貼った者同士で理由を話し合おう。（ポイント③）  ・相手だけでなく、自分のことも振り返ることが大切。  ・どちらも大切だと思う。　等 | ◆ネームカードを貼らせることで、自分の意見をもたせる。  ◇自分の考えをもつことができたか。  （立場表明・意見） |
| 展開後半 | ○　自分の経験を振り返り、似たような場面の時の様子と、どうすればもっと良かったか考えよう。（ポイント④） | ◆ワークシートの活用  ◇自分と異なる意見や立場の違う人との関わりについて考えている。  （ワークシート） |
| 終末 | ○　広い心をもって、相手の考えを認めたり、過ちなどを許したりするために大切なことは何か考えよう。（ポイント⑤）  ・友達に伝える前に自分のことも考える。  ・もめ事があったとき、相手の意見も考える。  ・相手のよさに目を向ける。  ・みんなのことも考える必要がある。　等 | ◆授業のはじめと比べ、自分の考えの変容について考えさせる。  ◇謙虚になることの大切さと難しさについて考えている。 |

３　授業におけるポイント

|  |  |
| --- | --- |
| ポイント① | ○　自分の経験を振り返ることにより、道徳的な問題を自分との関わりとして捉えられるような発問にしています。 |
| ポイント② | ○　ネームカードを貼ることにより、自分の考えや立場を明確にするとともに、答えが一つではないことを可視化しています。 |
| ポイント③ | ○　はじめに、同じ意見同士で話し合うことで自分の考えを深めさせています。次に､自分と異なる意見の人と話し合うことで、様々な考えに触れさせています。 |
| ポイント④ | ○　再び、自分の経験を振り返ることにより、資料を読む前よりも考えが深まるようにしています。 |
| ポイント⑤ | ○　今後の活動へ向けて考える場面を設定しています。 |

４　模擬授業後の協議で出された意見・感想〔□：よかった点、■：意見等〕

|  |
| --- |
| ■　展開前半での、「自分がだめ」「サムがすごい」という考えだけでは、判断が難しかった。  □　展開前半で、立場を明らかにした上でグループをつくり、同じ意見をもったグループ同士で話合うことで考えを深めることができた。  ■　展開前半では、２択以外の考えも示すことができるようにしてもよかった。  ■　展開前半では、導入部分と連動するので板書を効果的に活用すると、よりスムーズに振り返ることができたのではないか。  □　終末では、「謙虚」というキーワードを示し、全体で確認したことがよかった。 |